

平成25年度 事業別予算概要

事業名	21800	環境政策推進事業費	予 算	会計	1	一般会計	総 計 画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市環境基本計画	市 長 公 約	8 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります ◎環境保全に取り組みます。◎市民生活の中に自然環境を活かした街づくりを進めます。 ◎環境教育を推進します。
	課			2	総務費	分野		6	環境・衛生	実施計画事業		環境行政推進事業		
	担当課			1	総務管理費	基本施策		1	快適に暮らせる環境を整備する	H25実施計画額		2,000 千円		
	環境政策部 環境政策推進課			18	環境政策費	施策		2	地球環境への負荷の低減					
		内線												
		2282												

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	地球環境の保護と市民の環境意識の向上及び具体的な行動、参画を図る。	概要	事業の実手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 高山市環境審議会の運営を行う。 高山市快適環境づくり市民会議の運営を行う。 高山市新エネルギービジョン(仮称)を策定する。 ポイ捨て等及び路上喫煙禁止条例の啓発を行う。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 高山市環境審議会の開催(審議会2回、意見交換会6回、千代田区エコツアーへの参加) 住宅用太陽光発電システム設置に対する助成制度の実施。 電気自動車用急速充電器を市内2ヶ所(市役所、桜香の湯)に設置。 						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	4	4	5
活動指標	グリーンマーケット及びクリーン作戦等の開催	回	実績値	4	4		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100
活動指標	ポイ捨て等及び路上喫煙禁止の啓発パトロールの実施	回	実績値	136	135	198	70
				算出根拠等	達成率(%)	100	100
成果指標	環境審議会(意見交換会含む)開催回数	回	実績値	2	8	10	10
				算出根拠等	達成率(%)	100	100
成果指標	グリーンマーケット参加者	人	実績値	2,000	2,000	2,200	2,200
				算出根拠等	達成率(%)	100	100
成果指標	クリーン作戦参加者	人	実績値	200	200	220	220
				算出根拠等	達成率(%)	105	110
成果指標	住宅用太陽光発電システムの市内導入世帯数	世帯	実績値		400	550	670
				算出根拠等	達成率(%)		115
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 行政だけでなく、市民、事業者が連携し、協働して省資源や環境保護などの環境活動に取り組む必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 高山市環境審議会、意見交換会を開催する。 高山市新エネルギービジョン(仮称)を策定し、新エネルギー導入の方向性を示す。 快適環境づくり市民会議によるグリーンマーケット、クリーン作戦を実施する。 観光客等へポイ捨て等及び路上喫煙禁止条例の周知啓発に努める。 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 拡大 縮小 廃止検討
	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	363	15,514	4,663	188,985
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4	166	50	2,035
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 環境審議会の開催 高山市地球温暖化対策地域推進計画の推進 高山市快適環境づくり市民会議の事務局運営 ポイ捨て等及び路上喫煙禁止条例の啓発 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 指定避難所等に太陽光発電システム及び蓄電システムを導入 スマートコミュニティ実現のためのエネルギー効率化の調査 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 行政だけでなく、市民、事業者が連携し、協働して環境活動に取り組む必要がある。 再生可能エネルギーの導入促進により、必要な電力の確保をめざし、防災拠点の強化を図る必要がある。
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,663	188,985	184,322	186,573	196,573	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 スマートコミュニティ構築に向けたモデル事業調査に要する経費を計上 防災拠点施設への新エネルギー設備導入に要する経費を計上 	<ul style="list-style-type: none"> 自然エネルギー利用の普及啓発に要する経費を計上
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他		17,200	17,200	10,000	10,000		
一般財源		4,663	171,785	167,122	176,573	186,573		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	21805	森林づくり交流推進事業費	内線	2282	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市地球温暖化対策地域推進計画	市長公約	8 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります ・森林等の自然環境を資源として守り活用するため、自治体・企業間交流等、都市部との連携等を実施します。
	種別				2	総務費	分野		3	林業	実施計画事業		森づくり交流推進事業		
担当課	環境政策部 環境政策推進課			18	項	1	総務管理費	基本施策	1	林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する	H25実施計画額	6,500 千円			
	目	18	環境政策費		施策	4	森林の保全								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	都市部の自治体や企業等との交流を通じて森林保全を行うとともに、都市部での地元産材の利用拡大や二酸化炭素削減につなげる。	概要	事業の実手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部の自治体、企業等とのカーボンオフセット事業を推進するとともに、エコツアーなどを実施し、交流・連携を図る。 ・間伐材を始めとした地元産材の活用を促進するため、「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」の活用や都市部の自治体、企業等へのPRなどを推進する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		<ul style="list-style-type: none"> ・高山市環境審議会千代田区エコツアーを実施(東京都千代田区) ・千代田区との森林整備(カーボンオフセット)による協定内容を協議(東京都千代田区) ・「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」の登録事業者の募集を開始(東京都港区) 						
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指 標	都市部の自治体・企業等との連携交流イベント実施回数	回	目標値	1	1	2	3
				実績値	1	1		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
	成果 指 標	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の登録事業者件数	件	目標値		10	15	20
				実績値		10		
	算出根拠等			達成率(%)		100		
	成果 指 標	都市部とのカーボンオフセット事業による二酸化炭素吸収量	t-CO2	目標値			78	78
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	成果 指 標	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度による港区内建築物への木材供給事業者数	件	目標値		1	1	2
				実績値		0		
	算出根拠等			達成率(%)		0		
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足			目標値					
算出根拠等			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2削減に向けた都市部の自治体・企業等との継続的な取組みの仕組みづくりの検討が必要である。 ・都市部と地元の住民や事業所同士が自主的に連携活動ができる体制づくりが必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況		<ul style="list-style-type: none"> ・カーボンオフセット事業による地球温暖化対策を推進するとともに、都市部の自治体、企業等の各種イベント・行事に参加し、連携・交流のきっかけづくりを行う。 ・高山産の木材流通の促進を図られるように積極的なPRを行う。
次年度の実施方針	担 当 課 評 価	維持・改善
	〇 拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部と自然豊かな高山市の森林づくり等による地域間交流を推進し、今後は都市部の住民や事業者との交流にも拡大していくとともに、環境面だけでなく観光振興や地域活性化にもつなげていく。
	縮小	
	廃止検討	
二 次 評 価	〇 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きCO2排出量取引など後の財源確保に繋がるような取り組みを行う必要がある。 ・「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」については港区内建築物への木材供給の実績を上げられるよう取り組み必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	80	526	6,200	6,120
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1	6	67	66
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都千代田区との森林整備(カーボンオフセット)事業の実施 ・各種環境関連イベント出展PR ・みなと森と水ネットワーク会議への参画 ・みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の推進 ・都市部との新たな連携、交流の検討 	要求のポイント	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2削減に向けた都市部の自治体、企業等との継続的な取組みの仕組みづくりを検討する必要がある。 ・地域材の木材流通の促進を図るPR方法を検討する必要がある。
------	--	---------	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		6,200	6,120	△ 80	6,100	6,100	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金	3,300	3,002	△ 298	3,300	3,300		
	その他	1,100	1,100	0	1,100	1,100		
	一般財源	1,800	2,018	218	1,700	1,700		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	21810	木質バイオマス活用促進事業	内線	2283	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市地球温暖化対策地域推進計画	市長公約	8	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活動など、環境保全は今生きている全ての人々が取り組まなければならない重要な課題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につながる取り組みを支援します ・温室効果ガス排出量を2020年までに25%削減(1990年対比)します			
	課				2	総務費	分野		6	環境・衛生	実施計画事業		木質バイオマス活用促進事業						
	担当課				環境政策部	環境政策推進課	項目		1	総務管理費	基本施策		1				快適に暮らせる環境を整備する	H25実施計画額	20,000 千円
	目				18	環境政策費	施策		2	地球環境への負荷の低減									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたいのか(意図)	・木質バイオマス普及のため、市民の環境意識の高揚を図るとともに、ペレットストーブ等の導入について積極的に支援することによって日本一の森林都市・飛騨高山に相応しい低炭素型社会を構築する。	概要	事業の実施手法(手段)	・ペレットストーブ、薪ストーブ、ペレット燃料等の購入経費に対して補助する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		ペレットストーブ等の設置に対する補助、ペレット燃料等の購入に対する補助の実施。						
成果面	成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
					目標値	135	165	105
	実績値	97	98					
	算出根拠等	達成率(%)	72	59				
	成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
					目標値	105	160	160
	実績値	77	98					
	算出根拠等	達成率(%)	73	61				
	成果指標	指標名	単位	目標・実績	目標値			
					実績値			
	算出根拠等	達成率(%)						
	成果指標	指標名	単位	目標・実績	目標値			
					実績値			
	算出根拠等	達成率(%)						
	補足	指標名	単位	目標・実績	目標値			
					実績値			
算出根拠等	達成率(%)							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・ペレットストーブ等の設置に対する補助件数は、ほぼ横ばいであり、当初の見込みに対して実績が少なくなっている。 ・市民への周知を効果的に行い、本事業の活用促進を図る必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・市民への周知を図り、本補助制度の活用促進を行う。	
次年度の実施方針	○維持・改善	・申請件数はほぼ横ばいであるが、本事業はCO2削減、木質バイオマスの利用促進に大きな効果があるため、引き続き実施する。 ・木質ペレットの価格は、石油価格との差が小さくなっているため、今後状況を確認しながら、補助内容の見直しについての検討も必要。
	○維持・改善	・地球温暖化対策における木質バイオマスの有効性について、市民の理解を深める取り組みを行う必要がある。 ・将来的な燃料の需給バランスなども考えて進めていく必要がある。 ・CO2排出量などの程度削減されたのか、事業の効果検証を行う必要がある。 ・他の施策とあわせ高山市地球温暖化対策地域推進計画に定める温室効果ガス排出量の削減目標を達成するための活動指標を設定する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	10,068	9,764	14,000	14,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	107	105	151	151
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	・ペレットストーブ・薪ストーブの本体購入助成 ・ペレットボイラーの本体購入助成 ・ペレット燃料の購入助成	要求のポイント	事業実施の課題	・化石燃料の代替エネルギーとしての木質バイオマス利用をさらに促進するため、市民への補助制度周知とともに木質バイオマスに関するPRを検討 ・制度開始から5年をむかえるため、当補助事業の効果を測るとともに、今後の方針について検討の必要がある。
------	--	---------	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	14,000	14,000	0	13,000	18,000	・積算内容を精査	・大型ペレットボイラー導入に対する助成制度を新設
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	14,000	14,000	0	13,000	18,000		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	21820	屋根遮熱塗装等推進事業費	会計	1	一般会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市地球温暖化対策地域推進計画	市長公約	8	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活動など、環境保全は今を生きる全ての人が取り組まなければならない重要な課題であるため、バイオマス の利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につながる取り組みを支援します ・温室効果ガス排出量を2020年までに25%削減(1990年対比)します					
	課			2	総務費		分野	6		環境・衛生				実施計画事業	高山市屋根遮熱塗装等推進事業			
	担当課			環境政策部 環境政策推進課	内線		1	総務管理費		基本施策					1	快適に暮らせる環境を整備する	H25実施計画額	0 千円
							18	環境政策費		施策					2	地球環境への負荷の低減		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	建築物の所有者、管理者又は使用者	どうしたいのか(意図)	屋根の蓄熱を抑制し室内への貫流熱を抑える遮熱塗装及び遮熱鋼板の普及を支援し、省エネルギー化による地球温暖化対策の推進と低炭素社会の構築を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	遮熱塗装により屋根を塗り替えるために要する費用、又は屋根の遮熱鋼板を葺き替えるために要する経費の一部を補助する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	建築物屋根の遮熱塗装、遮熱鋼板葺き替えに対して補助を実施。							
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
				目標値	100	100	200	
成果指標	遮熱塗補助の実行件数	件	実績値	103	124			
				達成率(%)	103	124		
成果指標	算出根拠等							
成果指標	遮熱鋼板葺き替え補助の実行件数	件	目標値		35	100		
				実績値		85		
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
							243	
成果指標	算出根拠等							
成果指標	算出根拠等							
補足	H23より遮熱鋼板葺き替えに対する補助を新設							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・市民ニーズは高く、見込みより多い申請件数となっているが、直接的にCO2削減量の換算ができないため、事業の効果が見えにくい。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・本事業は今年度で完了予定であるため、昨年度より多数の申請が見込まれる。これまでの事業について、効果を検証する必要がある。							
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>維持・改善</td> <td rowspan="6">・市民からのニーズは高いが、CO2削減量の面からは事業の効果が見えにくい。さらに削減効果の見込まれる新たな事業へ移行に向けた検討を行う。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> </tr> <tr> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> </table>	維持・改善	・市民からのニーズは高いが、CO2削減量の面からは事業の効果が見えにくい。さらに削減効果の見込まれる新たな事業へ移行に向けた検討を行う。	拡大	縮小	廃止検討	維持・改善	縮小
維持・改善	・市民からのニーズは高いが、CO2削減量の面からは事業の効果が見えにくい。さらに削減効果の見込まれる新たな事業へ移行に向けた検討を行う。							
拡大								
縮小								
廃止検討								
維持・改善								
縮小								

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	15,986	37,843	50,000	40,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	155,204	181,067	166,667	133,333
	受益者	建築物の所有者、管理者又は使用者	(B)	103	209	300

5 予算編成(Action2)

事業内容	屋根の蓄熱を抑制し室内への貫流熱を抑える遮熱塗装等の普及を積極的に支援し、省エネルギー化による地球温暖化対策の推進と低炭素社会の支援に関する市民意識の高揚を図る。 ・屋根遮熱塗装に対する助成 ・屋根遮熱鋼板葺き替えに対する助成	要求のポイント	事業実施の課題
------	---	---------	---------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		50,000	40,000	△ 10,000	0		・計画どおり平成24年度をもって終了	・エコ住宅の新築、エコリフォームに対する助成制度に編入し継続実施
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	50,000	40,000	△ 10,000				

平成25年度 事業別予算概要

事業名	21821	住宅エコ推進事業費(第2期分含む)	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市地球温暖化対策地域推進計画	市長公約	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活動など、環境保全は今を生きている全ての人々が取り組みなければならない重要な課題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につながる取り組みを支援します ・温室効果ガス排出量を2020年までに25%削減(1990年対比)します
	課			2	総務費		分野	6	環境・衛生		実施計画事業		
担当課	環境政策部 環境政策推進課		予算	内線	2283	基本施策	1	快適に暮らせる環境を整備する	H25実施計画額	10,000 千円			
	目	18		環境政策費	施策		2	地球環境への負荷の低減					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	住宅の所有者又は居住者	どうしたいのか(意図)	高山市におけるエコ住宅の新築工事及びエコリフォーム工事を促進し、住宅性能を維持・向上させ家庭部門におけるCO2の排出削減を促進し、地球温暖化対策の推進を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	国が実施している住宅エコポイント制度によるポイント数の1.5倍の金額を補助する。(限度額48万円)
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	エコ住宅の新築、エコリフォームに対する補助の実施(国の住宅エコポイント取得者に対する補助)						
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	700	2,666	2,100
成果指標	住宅エコ補助の実行件数	件	実績値	1,249	1,810		
				達成率(%)	178	68	
成果指標	CO2削減量	t	目標値	98	373	294	185
				実績値	174	253	
成果指標	算出根拠等	1件あたり 0.14t	達成率(%)	178	68		
				目標値	28	45	34
成果指標	補助対象となった工事の総工事費(経済波及効果)	億円	実績値	21	41		
				達成率(%)	75	91	
成果指標	算出根拠等	申請時の総工事費	目標値				
				実績値			
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値			
成果指標	算出根拠等		実績値				
				達成率(%)			
補足	国の制度と連動する内容であるため、補助金の審査を円滑に行うことができる。		目標値				
				実績値			
補足			達成率(%)				
				目標値			
補足			実績値				
				達成率(%)			

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・国の住宅エコポイントの予約受付終了に伴い、新規工事着工者が減少することが懸念される。本事業による省エネルギー効果や経済波及効果を鑑み、高山市単独の新たな制度を検討する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・国の住宅エコポイントの予約受付が終了となったことを受け、省エネ住宅の新築やリフォームを促進する新たな制度を検討する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・申請受付は平成27年3月31日まで実施。(高山市住宅エコ推進事業補助金交付要綱より) ・さらにCO2削減効果が見込まれる、新たな制度の実施に向けた検討を行う。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・CO2排出量がどの程度削減されたのか、事業の効果検証を行う必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	120,362	259,571	250,000	163,861
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	96,367	143,409	119,048	126,047
	受益者	住宅の所有者又は居住者	(B)	1,249	1,810	2,100

5 予算編成(Action2)

事業内容	エコ住宅の新築、エコリフォームに対する助成 ・国の住宅エコポイント予約受け付け済分 ・平成25年3月31日までに着工したエコ住宅新築及びエコリフォーム補助制度分	要求のポイント	事業実施の課題	・来年度実施が見込まれる国・県等の補助制度を踏まえながら、今後の事業実施について検討する必要がある。
------	--	---------	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		250,000	163,861	△ 86,139	70,000	250,000	・積算内容を精査	・景気対策及び環境対策として、エコ住宅の新築、エコリフォームに対する市独自の助成制度を平成26年3月31日着工分まで延長(屋根遮熱塗装等)に対する助成を含む)
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	250,000	163,861	△ 86,139	70,000	250,000		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	21825	地球温暖化対策事業費	会計	1	一般会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市地球温暖化対策地域推進計画	市長公約	8 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります ◎環境保全に取り組みます。◎市民生活の中に自然環境を活かした街づくりを進めます。 ◎環境教育を推進します。
	課			2	総務費		分野	6		環境・衛生		
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内線	1	総務管理費	基本施策	1	快適に暮らせる環境を整備する	H25実施計画額	25,500 千円		
	2282	18		環境政策費	2		地球環境への負荷の低減					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・温室効果ガス排出量を削減する手段や仕組みを導入し、低炭素社会を構築する。 (※1990年度比で2020年度までに温室効果ガス排出量25%削減を目指す。)	概要	事業の実手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・小水力発電設備(小規模)を設置する。 ・太陽光発電装置設置に対する助成制度を拡充(事業所用も対象) ・市が管理する公共施設の白熱電球をLED電球に替える。 ・施設緑化用樹木を購入し、公共施設の緑化を図る。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		<ul style="list-style-type: none"> ・施設緑化用樹木の購入 ・エコフットやCO2カルクを使用した夏休みや冬休みの環境学習を実施 						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
		施設緑化用樹木配付本数	件	目標値	3,000	4,000	2,500	3,000
	算出根拠等		実績値	3,862	2,095			
	成果指標	太陽光発電システム普及事業補助金交付件数	本	達成率(%)	129	52		
		目標値		50	100	125		
	算出根拠等		実績値		61			
	成果指標	住宅用太陽光発電システムの市内導入世帯数	世帯	達成率(%)		122		
		目標値		400	550	670		
	算出根拠等		実績値		461			
	成果指標	温室効果ガス排出量の削減率	%	達成率(%)				
		目標値		25	25	25	25	
	算出根拠等		実績値	22	※H25.3頃公表			
	成果指標	小中学校等環境学習参加者数	人	達成率(%)	86			
		目標値		110	150	50	50	
	算出根拠等		実績値		86	12		
	成果指標	電気自動車用急速充電器利用台数	台	達成率(%)			8	
目標値					365	730		
算出根拠等		実績値						
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス排出量削減のために、地域特性に合った新エネルギーの導入について検討する必要がある。 ・市民、事業者の新エネ、省エネに対する意識喚起と導入に向けた機運を高める必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市新エネルギービジョン(仮称)を策定し、市域の新エネルギーの賦存量、利用可能量を把握し、あわせて利用方法を検討する。 ・小水力発電設備(小規模)を設置し、導入に向けた課題・効果等を検証する。 	
次年度の実施方針	維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市新エネルギービジョン(仮称)をもとに、新エネルギーの積極的な導入を図る。 ・充電インフラ設備の充実も含め、電気自動車等の普及促進を図る。 ・更なる温室効果ガス排出量削減へ向けた地球温暖化対策の充実を図る。 ・小中学生等への環境学習を充実するなど、地球温暖化対策の身近な取り組みの普及啓発を図る。
	○ 拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの導入にあたっては、地域活性化や新産業創出の視点を組み入れるとともに、国のエネルギー政策の見直しの動向に留意する必要がある。 ・CO2排出量がどの程度削減されたのか、事業の効果検証を行う必要がある。
○ 拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,421	1,899	21,100	23,886
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	36	20	227	257
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システムの設置に対する助成 ・公共施設のLED照明化 ・公共施設の緑化推進 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市新エネルギービジョン(仮称)に基づいて、新エネルギーの積極的な導入を目指す必要がある。
------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		21,100	23,886	2,786	25,900	41,600	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・電気自動車急速充電器の整備(1箇所)に要する経費を計上 ・電気自動車急速充電器を追加整備(計2箇所) 	
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0	1,000	8,000		
	一般財源	21,100	23,886	2,786	24,900	33,600		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	21850	生物多様性保全推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	生物多様性ひだたかやま戦略	市長公約	8 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります ◎環境教育を推進します
	種別			款	2	総務費		分野	1	自然				
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内線	項	1	総務管理費	総合計画	基本施策	1	恵まれた自然を守り活かす	H25実施計画額	4,500 千円	市長公約	8 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります ◎環境教育を推進します
			2282	目	18	環境政策費		施策	1	自然環境の保全、自然とふれあう機会の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	市民が生物多様性への関心と理解を深めることで、自然環境の保全につなげる。	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 学校による授業の一環として専門のインストラクターの説明を受けながら、五色ヶ原の森をはじめとする自然公園に入り、自然を体感する「自然環境学習」を実施する。 その地にあった森をつくることを通じていのちの尊さを学ぶ「いのちの森づくり」を実施する。 里山をフィールドとして、草木や野鳥、昆虫等と触れ親しむ「山の自然学校」を開催する。 外来植物駆除の啓発並びに駆除方法の講習会を開催する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 「いのちの森づくり」の開催。(「第一章「森を知る」3会場、第二章「森の種がい」2回開催。ポット苗5,000本、131名参加) 「自然環境学習」の開催。(11小中学校+であい塾 参加児童数 822人) 「山の自然学校」を開催。(4講座、55名参加) 自然案内人の養成 20人 						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	いのちの森づくり開催数(第一章～第三章)	回	目標値		5	15	15
			実績値		5		
算出根拠等			達成率(%)		100		
活動指標	山の自然学校の開催数	講座	目標値	6	6	6	6
			実績値	6	4		
算出根拠等			達成率(%)	100	67		
成果指標	自然環境学習への参加校数	校	目標値	32	32	32	32
			実績値	14	12		
算出根拠等			達成率(%)	44	38		
成果指標	自然環境学習への参加児童数	人	目標値	1,500	1,500	1,800	1,800
			実績値	950	805		
算出根拠等			達成率(%)	63	54		
成果指標	いのち森づくりへの参加者数	人	目標値	-	130	310	310
			実績値	-	131		
算出根拠等			達成率(%)	#VALUE!	101		
成果指標	山の自然学校への参加者数	人	目標値	180	180	180	180
			実績値	84	55		
算出根拠等			達成率(%)	47	31		
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 受益者負担を設けない事業であるため、国等の補助金の活用や民間団体等との連携を検討し、市の負担を軽減することが必要。 民間団体等の類似する自然環境学習活動と連携した取り組みが必要。 より多くの学校が参加できるよう教育委員会との調整が必要。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 広く市民を対象とした自然環境教育については、山の自然学校の内容を見直し、民間で実施している活動と連携する等、効率的な環境教育の実施を図っている。 小中学生の自然環境学習については、市内全小中学校が同じ取り組みとして進めているよう、教育委員会と調整する。 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 次年度以降も教育委員会及び民間団体等との連携を密にとり、積極的に環境教育活動を進めていく。 国、県等の補助金の活用や民間団体等との連携を推進し、市の財政的・労力的負担を軽減していく。 外来生物駆除への更なる啓発活動と駆除講習会の開催などによる市民の参画を働きかけていく。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 外来生物については、大学等専門機関との連携も視野に入れながら効果的な除去の手法について検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	5,842	7,941	4,855	13,121
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	62	85	52	141
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,212	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 地元町内会や民間団体、地域在住の講師などと連携した環境保全への取り組みや、子ども達に地域の素晴らし自然を体感し、自然保護の大切さを学ぶ機会を提供する。 乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習の推進 いのちの森づくり(苗木植樹等) 外来植物(オオハシゴソウ等)の除去・啓発 山の自然学校 	要求のポイント	外来植物の除去に要する経費を緊急雇用対策事業費から移行	事業実施の課題	より多くの市民や学校が参加可能となるような仕組みづくりが必要
------	---	---------	-----------------------------	---------	--------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,855	13,121	8,266	5,855	6,845	・積算内容を精査	・外来植物の減少と生物多様性保全に対する意識高揚を図るため、外来植物駆除活動に対する奨励金制度を創設
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金		1,000	1,000	1,000	1,000		
	その他	1,000		△1,000	100	100		
	一般財源	3,855	12,121	8,266	4,755	5,745		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	62410	自然公園等管理事業費	予 算	会計	1	一般会計	総 計 計 画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市環境基本計画	市 長 公 約	8 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります ◎環境保全に取り組みます。
	課			6	商工費	分野		1	自然	実施計画事業		生物多様性保全推進事業、登山道整備事業		
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内 線 2282	項	2	観光費	基本 策 画	基本施策	1	恵まれた自然を守り活かす	H25実施計画額	千円		
	目	3		自然公園費	施策	3		自然を生かしたまちづくり						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	適正な自然公園の管理を推進し、市民や観光客等が自然公園へ安全安心に訪れられる環境を整えること で、公園利用の促進と自然環境保護への意識の高揚を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	指定管理者による乗鞍山麓五色ヶ原の森の適正な管理運営を推進。 乗鞍自動車利用適正化協議会による乗鞍スカイラインの適正活用の推進。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森への入山に、環境休養日を設けて環境に配慮した管理運営を推進。(入山者数 7,424人) 乗鞍スカイラインの適正管理と乗鞍フォーラム開催による乗鞍岳の環境保全啓発の推進。(入込者数 181,932人、乗鞍フォーラムの開催 参加者310人) 						
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指 標	市民ツアー開催回数	回	目標値	4	5	10	10
				実績値	4	5		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
	成果 指 標	乗鞍山麓五色ヶ原の森の入込者数	人	目標値	5,000	7,500	7,500	7,500
				実績値	9,681	7,424		
	算出根拠等			達成率(%)	194	99		
	成果 指 標	市民ツアー参加者数	人	目標値	200	250	500	500
				実績値	298	234		
	算出根拠等			達成率(%)	149	94		
	成果 指 標	乗鞍スカイラインの入込者数	人	目標値	200,000	200,000	200,000	200,000
				実績値	200,816	181,932		
	算出根拠等			達成率(%)	100	91		
	成果 指 標	乗鞍フォーラムの参加者数	人	目標値		500	500	500
				実績値		310		
	算出根拠等			達成率(%)		62		
補 足			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。 国、県に対する管理財源確保への働きかけや関係団体等との連携強化を推進し、市の財政的負担の軽減を図る必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況		<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森については、引き続き環境休養日を設ける取組みを継続するとともに、案内人のスキルアップを図るため研修内容等も充実する。 乗鞍については、今年度からスタートした乗鞍自動車利用適正化方針に基づき、事業展開する。
次 年 度 の 実 施 方 針	○維持・改善 拡大	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森については、引き続き環境休養日を設け、自然環境への負荷に配慮した誘客への展開を図るとともに、五色ヶ原の森自然保護審議会の意見を生かした取組みを実施する。 乗鞍については、地域振興と環境保全のバランスを考えながら、乗鞍自動車利用適正化方針に基づき、事業展開する。
		○維持・改善 縮小
	○維持・改善 廃止検討	
	○維持・改善 廃止検討	

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	8,850	51,169	50,192	54,134
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	94	549	541	583
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,212	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森や乗鞍スカイライン、その他自然公園などの適正管理 乗鞍山麓五色ヶ原の森の保全・管理 乗鞍スカイラインの適正利用の推進 登山道管理 ジオパークの研究 	要求の ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> 開山後10周年を迎える乗鞍山麓五色ヶ原の森の自然への影響把握のための植生調査 	事業 実 施 の 課 題	自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業の展開
------	---	-------------------------	--	-----------------------------	----------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		50,192	54,134	3,942	50,898	51,088	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 乗鞍山麓五色ヶ原の森における自然環境調査に要する経費を計上 	ジオパーク推進のための経費を計上
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金	12,160	12,160	0	11,890	11,890		
	その他			0				
一般財源		38,032	41,974	3,942	38,711	38,711		